

ノース・カロライナ大学

アメリカでの研究生活を振り返ってみると、一つ一つ楽しい思い出となって甦ってきます。アメリカの東部、ノース・カロライナ州のチャペルヒルにある創立二百周年を迎えるアメリカで最も古い州立大学、ノース・カロライナ大学のデイル・ライト博士のもとで客員研究員として一年間、認知論をベースにした組織行動論の研究を中心に過ごしました。

一七九二年に創設され、歴史と伝統をもつノース・カロライナ大学はチャペルヒルを本部に、シャーロット、ウィルミントンなど州全体に16のキャンパスをもつ大学システムに成長し、多くの優れた学部をもつ学府として、特にヘルスサイエンスのメッカとして広くその名を知られています。また、この大学のビジネススクールも著名

木 谷 光 宏



で、世界のビジネススクールの中でベストテンにランクされているほどです。ケース・スタディを重視したMBAのプログラムも10余りのコースに分けられ、その主たる講座としては「Risk Management」「Organizational Behavior」「Social Psychology of Organizations」「Human Resource Management」「Labor Management Relations」「Marketing」「Consumer Behavior」「Financial Management」「Management Information Systems」「International Business」などが設けられています。

ところで、ノース・カロライナ州は東を大西洋に接し、多くの優秀な大学からなり、サンベルトの中でも経済風土のすぐれた所として脚光を浴びている州です。この点は日本の企業の注目の的となり、住友電工、三菱セミ

コン、神戸製鋼、本田技研、味の素、武田薬品、紀文、コニカなど50社ほどの企業が進出し、その数は増加傾向にあります。

しかも、この州は素晴らしい学問的環境とめざましい経済成長というだけでなく、気候も温暖で広大な大地には自然の美しさがあり、日本と同様に移り変わる四季の豊かさがあります。また、目をキティホークに転じれば、そこは人類の夢をかなえた世界で最初の飛行を試みたライト兄弟の実験の地でもあります。日本の「大和魂」のように、アメリカの「南部魂」として使われる言葉に「タヒーール」というのがあります。これは「地に足がついた」という意味で、この地の松ヤニからとったタールを靴底にぬり、南北戦争の戦場でびくともしなかったことのたとえになっています。

研究室の大学院生との会話の中でRTPという言葉をよく耳にしました。これはリサーチ・トライアングル・パークの略で、カリフォルニアのシリコンバレーと同様に、企業や研究集団が形成する「研究学園都市」のことで、州都ローリーにあるノース・カロライナ州立大学、ダラムにあるデューク大学、チャペルヒルにあるノース・カロライナ大学の三つを核に、一九五四年に三つの

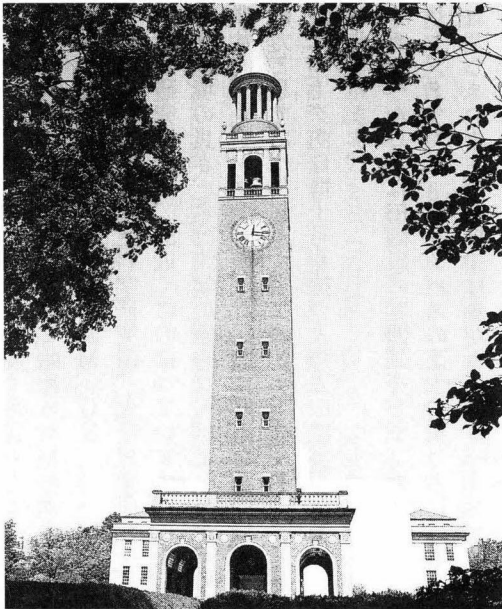
大学を結ぶ三角の地域に自然環境を保護しながら産学共同の研究都市作りを目的として始められたのです。この地域で活動している企業はIBM、GE、デュポン、研究機関は国立環境衛生科学研究所、化学産業研究所、家族計画研究所など、50近くにのぼっています。こうした自然環境の良さ、名門大学の優秀な人材と一流企業の産業共同プロジェクトといった研究に好適な雰囲気がある魅力としてあげられます。このリサーチ・トライアングル・パーク内は博士号を持つ人の人口密度が全米一と言われています。

チャペルヒルは田園風の雰囲気をもつコンパクトなカレッジタウンで、キャンパスの芝生の美しさには驚かされてしまいます。小枝では鳥がさえずり、リスが芝生の上を駆けまわったり、木に登ったりしている様子はほほえましくらいです。夏になると、キャンパスのあちらこちらに蛍が淡くほのかな光を放ちながら飛んでいるフアンタスティックな光景がみられ、研究で疲れた心をなごませてくれます。

アパートから大学の研究室まで徒歩で15分、歩行速度も日本人の半分くらいのゆったりとした足取りです。日本のように通勤ラッシュもなく人間らしい快適さを感じ

させてくれます。これからの日本人には、時間をどのようににでも自分でデザインすることが一層重要なテーマとなっていくことでしょうが、ある空間の中で時間をどう過ごすかによって人間が人間らしくなっていくように感じられます。時間が何をしても過ぎていくのなら、有意義なことにそれを使いたいと思うのは誰しも同じことでしょうが、物質的に豊かさを享受するようになった日本人がゆとりある生活を心がけ、自分のペースで生きてゆきたいと思いつつも、そのように生きられないのは何故なのであろうか。帰国後の忙しい生活に追われる日々を過ごしながら、ノース・カロライナのあの澄みきった美しい青空が懐かしく思い出される今日この頃です。

(助教授・産業心理学専攻)



ノースカロライナ大学